

談話室

.....

辰巳 琢郎

俳優

辰巳 琢郎 さん

profile

大阪市出身。京都大学文学部卒業。知性・品格・遊び心と三拍子揃った俳優として幅広く活躍。食通・ワイン通としても知られる。(社)日本ソムリエ協会名誉ソムリエ。自身が企画した『辰巳琢郎のワイン番組』(BSフジ)、『情熱エンジン』(フジテレビ系列・東北および新潟の7県ネット)にレギュラー出演中。



数学は
美しく
与持 たい!

——高校時代はどんな生徒でしたか？

結構好きなことやっていましたね。高2から劇団も作りまし、FBS（附高放送局）で昼休みにDJをやったり、詩集を作ったり……。クラブ活動というよりも自分たちで色々なことをやっていました。学校の教育方針自体が非常におおらかで、「大学受験のために大事な高校生活を無駄にするな。3年間今しかできないことをやり、一浪して大学に入ればいい」と。それでも浪人するのは嫌でしたし、高3の春休みからしっかり勉強を始めました。受験直前の1月のラグビー大会まで行事もきちんとこなし、ハードでしたけど、充実した高校生活を送ることが出来ました。試験のときなど、試験監督の先生はテスト用紙を配ってしばらくしたら出てっちゃう。「カンニングしたければしなさい、でもそれは自分のためになりませんよ」と、いい学校でした。おかげで自主性が養われたと思います。

——数学について高校の先生に期待することはありますか？

先日、TV番組の平成教育予備校に平成教育委員会以来久しぶりに出て、算数の問題で最後に1を足すのを忘れるうっかりミスで後輩に負けちゃいました。これはお遊びですが試験の場合でも8割9割で解けていても、答えが最後に間違っていた

ら0点の場合もあるわけじゃないですか。数学というのはそういうふうに結果だけを求める学問ではないと思うんです。是非、解答に向かって努力した一步一步を評価してあげて欲しいと思います。九九のように無条件で覚えなければならないものはもちろん必要ですが、〇×だけだと本当に味気ない。問題を解く喜びとか、数の不思議さや美しさとかをもっと伝えて欲しいなと思います。

——数学を学ぶ上では、何が大事でしょうか？

国語をしっかりやるのが大事だと思います。数学って、凄くイメージが大事な学問だと思うんです。この問題は何を言おうとしているのか、何を求めているのか。面白さを感じるのもイメージをするのも母国語なんですね。藤原正彦先生もおっしゃってますが、とにかく国語ですよ。

——数学を学んで社会に出てから役に立ったことはありますか？

暗算での概算が得意になったことでしょうか。世の中に出て行って数字をおおづかみにするっていうのはいろんな局面で大変大事だと思うんです。どうして暗算なり概算なりを重視する教育があまりないんでしょうね。

——数字にまつわるエピソードなどを。

暗算や概算が得意だったので、劇団をやっていたときには、井勘定でしたけれどチケットの売上げ予測とか収支のバランスとかで失敗は無かったです。ただ一度、10数年前シンガポールでお土産に頼まれた時計の請求が、概算で理解していた日本円の10倍もカード会社から来たことがありました。百数十万円。ショックでしたね。早トチリで1桁間違えてたんです。金メッキだと思ったら金無垢で。手に持ってみれば重かったからわかったんでしょうけれど。他人のものですからねえ…。

——高校生に何かメッセージを。

「井勘定をバカにするな！」

「国語が大事。そのためには読書を！」

あと「機械、特にパソコンの過信は禁物！」